

(参考様式1)

## 人・農地プラン

市町村名	地区名	センサス集落名	当初作成年月	更新年月(2回目)	更新年月(3回目)	更新年月(4回目)
		鴨地、長畑、宮ノ谷、本村、大花、名越屋、柱谷				
日高村	能津地区		平成25年8月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月

地区面積 (農用地面積)
26.33ha

### 1. 今後の地域の中心となる経営体(担い手)

属性	経営体 (氏名)	経営者・代表 者の年齢	構成員 (従業員)	後継者の 有無	現状 〔平成30年度〕		計画 〔平成31年度〕		農地中間 管理機構 からの借入 希望の有無	新規就農・ 6次産業化・ 高付加価値化・ 複合化・ 低コスト化・ 法人化 等の取組	取組 年度	活用が見込まれる施策				備考
					経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)				農業次 世代人 材投資 資金 (開始 型)	スー パーL 資金の 金利負 担軽減 措置	経営体 育成支 援事業	その他 ( )	
認農 法	農事組合法人霧山 茶業組合 (矢野政彦)	56 才	5 名	有	茶	14 ha	茶	14 ha		6次産業化	24		○			
認農	壬生 豊秀	69 才	2 名	無	水稻 果樹等	0.20 0.6 ha	水稻 果樹等	0.20 0.6 ha								
	下元 美知子	59 才	2 名	有	水稻 生姜 果樹	0.2 0.14 0.27 ha	水稻 生姜 果樹	0.3 0.14 0.27 ha								
	大川 孝行	63 才	1 名	無	水稻 野菜	0.15 0.17 ha	水稻 野菜	0.27 0.17 ha								
	壬生 米昭	66 才	3 名	有	生姜 水稻 果樹	0.74 0.19 0.26 ha	生姜 水稻 果樹	0.74 0.19 0.26 ha								
	大川 俊彦	67 才	2 名	無	水稻 果樹	2.4 0.95 ha	水稻 果樹	4.8 0.95 ha								
	西 紘幸	35 才	1 名	無	野菜	0.30 ha	野菜	0.50 ha								
	合計 ( )				実面積	20.57 ha	実面積	23.39 ha								

### 2. 1から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている / ~~担い手はいるが十分でない~~ / 担い手がいない

### 3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	○
担い手の分散錯圃を解消する	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	○
耕作放棄地を解消する	
その他【右欄に自由に記載】	

### 4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	
その他【右欄に自由に記載】	

### 5. 近い将来農地の出し手となる者の農地

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状 〔平成〇〇年度〕		計画 〔平成〇〇年度〕		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無	
		経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)		農地面積	貸付時期
	才		ha		ha	ha		ha
	才		ha		ha	ha		ha
	才		ha		ha	ha		ha
	才		ha		ha	ha		ha
合計		実面積	ha	実面積	ha	ha		ha

### 6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)		
取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化		<p>能津地区は、仁淀川沿いの地区であり、山が川まで迫っており、平地の農地がほとんどなく、谷沿いに農地が点在している地区である。以前は、山の斜面の畑で槇子類の栽培が多くされていたが、それも現在では激減している。高齢化率も50%近くと日高村平均より10%程高く、山間部の農地については、耕作放棄地が増えてきており、鳥獣被害も多くなってきている。</p> <p>このような中、山間部では、大規模に1法人が茶の生産を行っており、平成24年度から6次産業化にも取り組んでいる。そのほかの中心となる経営体も、他地区で施設園芸を行っている者もあり、1名の生姜農家を除いて、農地の集約は難しい状況にあり、今後、農地を守っていくためには、地域で協力して取り組んでいく集落営農組織等の設立が必要となってくる。</p> <p>今後は、農地についての情報及び意見交換会を定期的に開催し、「人と農地」のありかたについての話し合いを行っていき、能津地区にあった方法を検討していく。</p>
複 合 化		
6 次 産 業 化	○	
高 付 加 価 値 化		
新 規 就 農 の 促 進		
そ の 他 [ ]		

